



文責:小寺博喜

校庭のポプラの葉や銀杏の実がすっかり落ちました。日ごとに初冬の空気を感じられます。雲雀丘小の子ども達は元気で、まだ半袖体操服で外に出て遊ぶ人がたくさんいます。その一方で、県内における新型コロナの感染が拡大傾向にあり、さらにインフルエンザの同時流行の可能性もあるとの報道も聞かれます。先の予測ができない状況ですが、様々な状況に備えて、学校としてできることをしっかりやっています。写真は、**二酸化炭素濃度の測定器**です。感染対策の換気がなされているか、その目安となる1000ppm 以下に保つことが大切です。雲雀丘小では全ての学級に置いています。



避難訓練を11月8日(火)におこないました。校舎内で火災が発生したことを想定した訓練です。職員による初期消火、消防署への通報訓練も実際におこないました。放送で避難指示を受けた全校児童は、担任と一緒に校庭に避難しました。今回は、授業中の避難でしたが、**休み時間や大人が近くにいない場面なども想定しておくことが必要だ**と感じています。



<学校目標>

自らかかわろう 自ら学ぼう

<教育目標>

自らかかわり 自ら学ぶ児童の育成

<めざす児童像>

自分力 自ら伸びようとする子

学ぶ力 自ら目標を立て学ぶ子

かかわる力 自らよりよい関係を築く子

浜田市小中連合音楽祭がおこなわれました。感染対策のため、無観客で収録方式の開催となりました。雲雀丘小からは3~6年生が参加。観客は一人もいないとわかっているにもかかわらず、録画をされると思うと別の緊張感がわいてきます。発表直前、ステージ裏で他校の発表を聞き、緊張感がピークに達していました。



そして本番。さっきまでの緊張をよそに、合唱では最初から子どもたちの澄んだ歌声がホールいっぱいに響きました。合奏も一人一人がこれまで練習してきたことをしっかりと表現していました。私は感激で鳥肌が立つのを感じながら、その様子を録画しました。そして、この日の内に、ご家族限定公開で動画配信をおこないました。



学習成果発表をおこないます。11月30日(水)の授業公開日にあわせて、各学級が日ごろの学習活動で学んだこと、身につけたことなどを発表します。参観は一家庭2人までの制限はありますが、どうぞご覧ください。また、この日、ひばり、あおぞら学級の取組で「ひばり・あおぞら屋」のお店が開きます。手作りの品物が販売されます。畑で収穫したさつま芋や、手作りのコースター、草木染で染めたやさしい色の手提げ袋など、色々あります。写真は、自分たちが学校の田んぼでつくったお米を、はかりで正確に測りながら袋に入れる作業の様子です。なんと、新米700gを100円で販売するそうです!



全校朝礼(11月7日)では、安全な登下校のありか たについて、私から子ども達に話をしました。

とても驚きました……。私が上学年の下校でいっしょに歩いているときに、学校から携帯に連絡が入りました。「児童が、下校途中で転んで顔から血を流して、警察と救急車が来ているようです!」



と。私は「救急車」という言葉を聞いて驚きました。電話の様子から上学年の人たちも「何かあったんですか?」と心配しています。私は、その人たちに、

下学年の児童が転んでケガして救急車が来ていること、下校途中にこれからその場を通ること、心配だろうけど救助のじゃまにならぬよう立ち止まらないようお願いしました。みんな真剣に聞いていました。

事故の現場が近づくにつれて、たくさんの大人の姿が見えます。さらに近づく、約1時間前に下校したはずの下学年の子ども達の姿も見えました。一人は大人に抱えられています。事故の現場に着き、上学年のみんなは約束通り静かにその場を過ぎていきました。私は大人に抱えられている子の顔をのぞきこみました。おでこ頬っぺたにガーゼがはいてあり、まだ血がにじんでいます。抱えていたのはお父さんでした。連絡を受けて駆けつけたお母さんの姿もありました。



警察の方の説明では、下学年で集団下校しているとき、前の人との間があいたので、後ろの人が注意しながら背中を押したそうです。すると勢いがついてしまい、顔から地面に突っ込んで転んでしまったそうです。たまたま警察の車が通りかかり、顔から血が流れている様子を見て救急車を呼んだそうです。ケガをその場で手当てしてもらい、救急車に乗ることはなかったそうです。

入院したり手術したりするケガにはなりませんでしたが、転んだ人はとっても痛かったことでしょう。そして、ご家族はすごく心配したはずで、背中を押した友達もケガをさせようと思ってしたことではないことを私は知っています。押した人も驚いて泣いていました。押ししてしまった友達のお家の方も、心配して駆けつけてくれました。そう、たくさんの人がすごく心配しました。

私がみなさんに伝えたいことは、「安全に登下校する気持ちを、一人一人が持つ」ということです。「何となく安全」ではなく、「自分から安全をつくる」ことが大切です。車だけではなく、歩き方にも気をつけましょう。上学年のみなさんは、自分の安全はもちろんですが、下学年の安全にも気をつけてくださいね。どうかよろしく願います。

マラソン大会を通して、色々と感じることがありました。高学年のある児童は、マラソン大会の前日まで数日間、お休みをしていました。1学期の大会で活躍した児童でしたが、休み明けなので、私は「今日は見学だろうな」と思っていました。ところが、その児童は参加しました。結果は、自分の思っていなかった内容だったのか、閉会式後、その児童の姿はサッカーゴールの後ろにありました。現実を受けとめるための心の作業をしていたのでしょう。私は、その様子を見ながら(休み明けなのによくやったよ)と心から思いました。すると、一人の児童が駆け寄りました。少しだけ言葉をかけ、近くに座りました。しばらくして、ショゲていた児童が立ち上がり、笑顔が見られました。後で話を聞くと、駆け寄った児童は「ちょっと元気がないようだったから行ってみました」と教えてくれました。笑顔になった児童も「気にかけてもらえて何か元気ができました」と話してくれました。



山あり谷ありの学校生活ですが、その経験を通して、子ども達は、日々、成長しています。



主な行事予定

《11月》

28日(月) 5・6年 訪問指導

30日(水) 授業公開日(学習成果発表)、ALT 来校

《12月》

1日(木) 交通指導

2年 町たんけん、5・6年 紙すき体験

2日(金) 書取会

2年 町たんけん

6日(火) スクールカウンセラー来校

2年 町たんけん、5・6年 県学力調査

7日(水) ALT 来校

9日(金) 計算会、人権集会

3年 消防署見学

12日(月) 2中校区あいさつの日

13日(火) 個人懇談

14日(水) 個人懇談、ALT 来校

15日(木) 安全点検

3~6年 書初め練習会

20日(火) 児童総会

21日(水) ALT 来校、クラブ

22日(木) 給食終了

23日(金) 終業式